

府中市庁舎建設に関する
市民説明会(第2回)

基本計画策定までのながれ

基本構想の策定 (H23年8月)



市民検討協議会、職員検討会、関係団体アンケート



基本計画(案)の作成



パブリックコメント、市民説明会



基本計画の策定

パブリックコメント手続及び市民説明会におけるご意見について

パブリックコメント制度とは

行政が施策などに関する計画などを策定する際に、市民にその案を決定前の段階で公表して広く意見を提出できる機会を設け、それらを参考に、最終的な意思決定を行い、意見とそれに対する市の考え方を公表する一連の制度です。

この制度は、計画自体の賛否を問うものではなく、計画などの案の段階で公表することによって、行政運営の透明性の向上などを図ることを目的としています。

パブリックコメント手続の結果

実施期間

平成26年12月15日から

平成27年 1月16日まで

実施結果

Eメール 15人

FAX 1人

郵送 121人

意見投函箱 2人

窓口 4人

合計 143人 397件

市民説明会の実施結果

1月 9日(金) 午後6時30から

西府文化センター 15人

1月10日(土) 午前10時から

市役所本庁舎 23人

1月11日(日) 午後2時から

白糸台文化センター 12人

1月21日(水) 午後7時から 聴覚障害者向け

市役所本庁舎 7人

いただいた主なご意見

新庁舎の必要性について

耐震性が低い西庁舎だけ建替えたかどうか
耐震改修すればまだ使用できるのでは
年に1、2回しか訪れない庁舎の機能を充
実させる必要があるのか

現庁舎は耐震性の不足、バリアフリー対応、施設・設備の老朽化、施設の狭あい化などの課題により、市民サービスの低下や行政効率の面で支障が出ています。特に災害時における災害対応の拠点としての機能には大きな不安があります。

新庁舎の規模について

住宅や商業施設を併設したらどうか
規模が大きすぎる、小さすぎる
職員想定数の900人を減らすべき

市庁舎は行政事務を行う建物であると考えています。建設予定地の周辺には大國魂神社や多くの住宅などが隣接していることもあり、周辺環境への配慮から規模の大きいものは望ましくないと考えており、将来の人口推計などを参考に職員数などを想定し、適正な規模を設定しています。

建設予定地について

ほかの場所で建替えたほうが良い
駅前に建設してほしかった
現在の場所が良い

現在の位置は、府中駅と府中本町駅からのアクセスも良く大國魂神社に隣接していることもあり、建設用地としてふさわしい場所であるとの声が多くありました。他の場所での建替えは新たな場所の確保が難しいことから現在地での建替えとしています。

概算事業費について

駅前再開発と給食センター事業もあり、
市民の大きな負担になるのでは

建設費用が高騰しているため、計画を
延期したほうが良いのでは

出来る限りの節約、圧縮をしてほしい

他の大規模事業が同時に進んでいますが、基金(貯金)や起債(借入)を最大限に活用し、市の財政に負担を与えない計画とします。

オリンピック終了後に建設費用が落ち着く保証がない中で多くの課題を解消するための本事業を先延ばしにすることはできないと考えています。

検討期間について

早い段階で市民の意見を聞く場を設けてほしかった

市民の声を聞いて計画を進めるには時間が不足しているのでは

基本構想の検討を進める段階から、検討協議会やパブリックコメント手続などを通してご意見を聞いてきました。今後も市民説明会等を通して本事業の進捗状況の報告やご意見を伺いたいと考えています。

新庁舎を望む声

基本計画のとおり進めて府中らしさを主張してほしい

早急に建替え、耐震技術を全て活用して防災体制を万全にしてほしい

職員が働きやすい庁舎にしてほしい

市民が集い憩える庁舎にしてほしい

ほかの庁舎の良い所や悪い所を参考にしてほしい

パブリックコメント手続の結果

多くの方が、基本計画そのものに賛成、または、新庁舎建設に向けての要望を付け加えたご意見を寄せており、基本計画に対して一定の理解を示している結果となっています。

府中市庁舎建設基本計画の概要について

1 新庁舎建設の必要性及び検討経緯

現庁舎の状況

耐震性の欠如

施設及び設備の老朽化

維持管理費の増大

狭あい化による窓口及び執務環境の低下

高度情報化及びバリアフリー化の対応への
限界

分散化による事務効率の低下

(基本計画2ページ)

庁舎整備の検討経緯

平成21年度	耐震診断
平成22年度	庁舎建設検討協議会設置
平成23年度	基本構想を策定
平成24年度	整備比較検討結果
平成25年度	市民検討協議会、職員検討会設置
平成26年度	基本計画を策定

(基本計画2ページ)

基本理念

「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」

基本方針

「市民に親しまれる開かれた庁舎」

「環境に配慮した安全な庁舎」

「使いやすい効率的な庁舎」

「まちづくりとの連携を担い、市民が誇りを持てる庁舎」

(基本計画3ページ)

新庁舎建設地

「現在の敷地を拡張して、全ての庁舎を建て替える」

新庁舎の規模

延床面積 30,000m²程度

概算事業費

約177億円

備品購入費、埋蔵調査費を除く

(基本計画4、5ページ)

2 新庁舎建設基本計画の位置付けと検討体制

検討体制

市庁舎対策特別委員会(市議会)

府中市庁舎建設検討協議会

市庁舎建設特別委員会(市議会)

基本構想を策定

比較検討結果

現敷地を拡張し全ての庁舎を建て替える

(基本計画6ページ)

市民検討協議会(全7回)

職員検討会(全8回)

専門委員との検討(全3回)

市議会へのアンケート調査

関係団体へのアンケート調査

基本計画(案)を策定

パブリックコメント、説明会の実施

基本計画を策定

(基本計画6ページ)

3 新庁舎建設地等の条件整理

関連計画等

第6次府中市総合計画

府中市都市計画マスタープラン

府中市耐震改修促進計画

府中市地域防災計画

府中市緑の基本計画2009

第2次府中市環境基本計画

府中市景観計画

府中市公共施設マネジメント基本方針

(基本計画7、8ページ)

4 府中らしい個性ある新庁舎の考え方

府中らしい庁舎3つの柱

「京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつ
なく庁舎」

「市民と行政との協働を支える庁舎」

「歴史あるまち、魅力あるまちを発信する庁舎」

(基本計画12ページ)

市民サービス向上につながる庁舎の機能

総合案内、窓口機能の充実

相談機能の充実

適切な待合スペースの設置

キッズスペースや授乳室の設置

市民が集う開かれた庁舎を実現するための機能

夜間、休日利用の拡充

市民にやさしい議場の整備

(基本計画14、15ページ)

防災・災害復興拠点機能

免震構造の採用を検討

災害対策本部の設置

ライフラインのバックアップ機能の確保

災害時における情報受発信機能の整備

環境との共生に関する機能

グリーン庁舎を目指した整備

自然エネルギー、再生可能エネルギーの活用

ライフサイクルコストの低減に向けた整備

(基本計画16～20ページ)

ユニバーサルデザインに関する機能

府中市ユニバーサルデザイン5つの視点

誰でも使いやすいトイレの整備

分かりやすい案内表示

行政執務機能及び執務環境に関する機能

開放的なオープンフロアの導入

効率的な執務空間

セキュリティの確保

(基本計画21、22ページ)

将来の変化に対応できる機能

統一されたオフィスレイアウト

オープンスペースを備えた庁舎

Wi - Fi機能の整備

市民参加のまちづくりや市民協働を支える機能

市民協働を支える機能の整備

地域の交流及び発展への貢献

情報受発信の拠点となる整備

交流を促進する場の整備

(基本計画23、24ページ)

新庁舎に配置する部署

低層階に窓口機能、相談機能などを整備

本庁舎、第2庁舎、防災危機管理課、ふるさと文化財課、宮町図書館を配置

新庁舎の規模

職員数900人、議員数30人を想定し、延床面積を約30,000m²とします。

ふるさと府中歴史館内の図書館や展示機能の一部を新庁舎へ移設します。

(基本計画25、26ページ)

駐車場の規模

来庁者用 117台

公用車用 72台

自転車駐車場の規模

来庁者用 301台

職員通勤用 384台

公用車用 70台

(基本計画27～29ページ)

概算事業費

新庁舎建設工事費	128.3億円
解体工事費	8.4億円
仮設庁舎建設工事費	6.3億円
設計費等	4.8億円
土地買収関連費	29.3億円
合計	177.1億円

財源

計画的に基金(貯金)と起債(借入)を活用し、市の財政に与える影響を抑えます。

(基本計画30、31ページ)

5 補助金活用等の検討

補助金等の活用

各種補助金の活用に関する調査

効率的な設備システムの導入によるライフサイクルコストを低減

歳入確保策の検討

売店や駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設等について、収入確保が可能な仕組みを検討

(基本計画32ページ)

6 事業手法及び選定手法

事業手法に関する考え方

庁舎建設にPFIの大きなメリットがないため、設計と施工をそれぞれ選定する従来型の直接建設方式を採用

選定手法に関する考え方

設計者の選定は、入札金額だけでなく技術力や実施体制などを評価するプロポーザル方式を採用します。

施工者の選定は、安全対策、工期短縮、コスト縮減案などの技術提案も合わせて評価する方式の採用を検討します。

(基本計画33～35ページ)

事業スケジュール

平成27年度

設計者の選定、基本・実施設計

平成30年度

建設工事開始

平成33年度

新庁舎しゅん工

事業工程に変更が生じる可能性があります

(基本計画35ページ)

今後のスケジュール

今後のスケジュール

執務環境調査

今年度中に調査、分析を完了させて新庁舎における執務環境等についての方針をまとめる

府中市新庁舎建設設計者選定委員会の開催

平成27年4月から7月まで

設計者候補者の選定

平成27年7月下旬

基本設計・実施設計の作業期間

平成27年度から平成29年度までの約2年間